

福島第一原子力発電所 C排水路サンプリング地点の統廃合について

< 参 考 資 料 >
2017年1月12日
東京電力ホールディングス株式会社

< 概要 >

C排水路出口付近では、これまで以下の3箇所でサンプリングを実施。

- ・「切替C排水路35m盤出口(C-2-1)」・・・H4エリアのタンクにおける水漏れに関連してサンプリングを実施
- ・「構内側溝排水放射線モニタ近傍(側溝モニタ)」・・・構内側溝排水放射線モニタにおける放射能濃度高高警報の発生に伴いサンプリングを実施
- ・「C排水路35m盤(C排水路)」・・・実施計画に基づきBC排水路出口付近としてサンプリングを実施

このうち「C-2-1」と「側溝モニタ」のサンプリング及び分析を廃止し、今後は代表地点として「C排水路」のみサンプリング及び分析を行っていきます。

これに伴い、2017年1月17日以降の公表資料の見直しを行います。

【統廃合理由】

当該3地点は上流から「C排水路」「側溝モニタ」「C-2-1」の順になっており、この間(約70m)には他から排水が流入する枝排水路がない。

当該3地点間は暗渠になっており雨水の侵入がない。

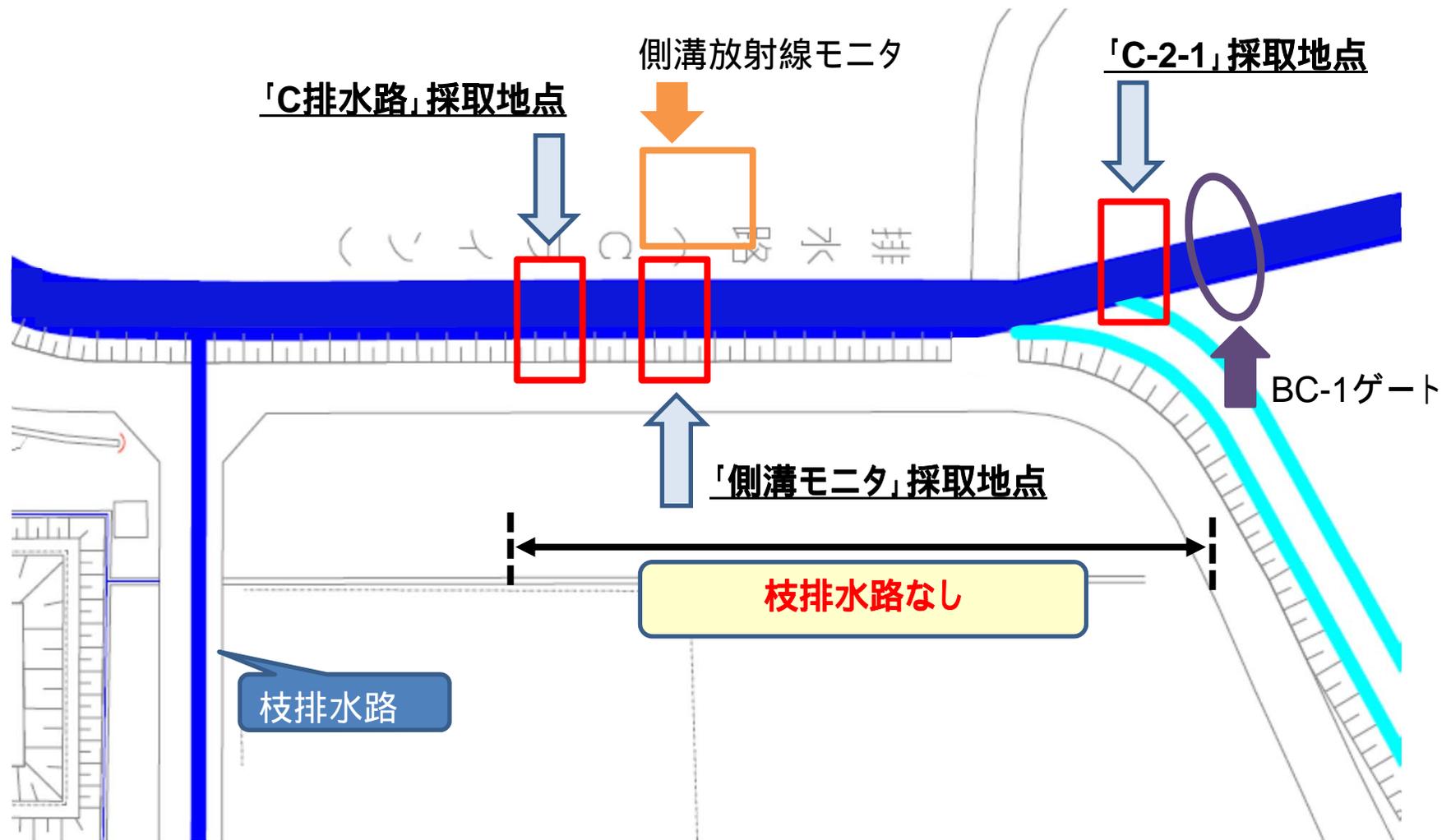
当該3地点付近には汚染水流入の要因となるタンクがない。

当該3地点とも核種(Cs-134, Cs-137)および全 を毎日分析しており、分析結果は同じ傾向。

「C-2-1」のサンプリングは、2013年8月のH4タンク漏えいの際、「汚染の状況把握」として開始しているが、分析結果が同じ傾向を示している「C排水路」で代替が可能。

「側溝モニタ」のサンプリングは、2015年2月の側溝モニタ放射能高高警報発生に伴う監視強化として開始しているが、分析結果が同じ傾向を示している「C排水路」で代替が可能。

(参考) 3地点の位置関係



(従来) 分析結果の速報版-タンクの水漏れに関するモニタリング-南放水口・排水路

凡例: × 削除 追加

福島第一原子力発電所構内H4エリアのタンクにおける水漏れに関するサンプリング結果について (南放水口・排水路)

2017年1月 日
東京電力ホールディングス株式会社

単位: Bq/L

	南放水口付近 ^{注1} 排水 (排水路出口付近) (T-2)	切替C排水路 ^{注2} 35m盤出口 (G-2-1)	管内側系排水 ^{注2} 放射線モニタ設備	C排水路 正門近傍 ^{注3} (G-0)	B排水路 ふれあい交差点 近傍 ^{注3} (B-0-1)
採取日		×	×		
採取時刻					
G>134(約2年)					
G>137(約30年)					
全β					

単位: Bq/L

	タンク監視区 (C排水路の 合流点前) (X-1)
採取日	
採取時刻	
G>134(約2年)	
G>137(約30年)	
全β	

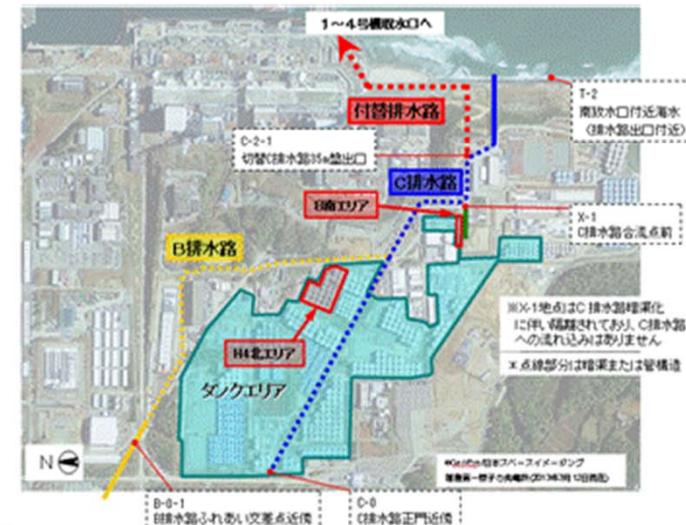
注1: 1~4号機放水口から距離約200m地点(T-2)
注2: 2013年2月22日の管内側系排水放射線モニタ警報発生に伴い、モニタリング強化のために追加。
注3: タンクエリアへの排水路の流入箇所
*測定対象外の項目は「-」と記す。
*MDは検出限界値未満を示し、()内に検出限界値を示す。

<参考> 前回の公表までの最高値 単位: Bq/L

	南放水口付近 ^{注1} 排水 (排水路出口付近) (T-2)	切替C排水路 ^{注2} 35m盤出口 (G-2-1)	C排水路 正門近傍 ^{注3} (G-0)
G>134(約2年)	3.5 (1/3)	5.8 (2/1)	10 (8/15)
G>137(約30年)	2.1 (1/5.1/3)	8.3 (7/1)	5.1 (8/15)
全β	1.1E+20<1/1.5E+10	300<3/1E+10	180 (8/15)

	管内側系排水 ^{注2} 放射線モニタ設備	B排水路 ふれあい交差点近傍 ^{注3} (B-0-1)	タンク監視区 (C排水路の 合流点前) (X-1)
G>134(約2年)	14<3/15	1.10 (5/1)	4.60 (10/4)
G>137(約30年)	10<3/15	8.30 (5/1)	3.00 (10/4)
全β	4.00<3/1E+10	3.30 (3/1)	15.00 (10/4)

*カッコ内は、右側の単位(日)を示す。()は2013年、()は2014年、【 】は2015年、○は2016年。



(今後) 分析結果の速報版-タンクの水漏れに関するモニタリング-南放水口・排水路

2017年1月17日公表資料～

福島第一原子力発電所構内H4エリアのタンクにおける水漏れに関するサンプリング結果について (南放水口・排水路)

2017年1月●日
東京電力ホールディングス株式会社

単位: Bq/L

	南放水口付近 ^{注1} 海水 (排水路出口付近) (T-2)	C排水路 35m盤	C排水路 正門近傍 ^{注3} (C-0)	B排水路 ふれあい交差点 近傍 ^{注3} (B-0-1)	タンク脇側溝 (C排水路の 合流点前) (X-1)
採取日					
採取時刻					
Cs-134(約2年)					
Cs-137(約30年)					
全β					

注1: 1～4号機放水口から南側約330m地点(T-2)
注2: 2015年2月22日の構内側溝排水放射線モニタ警報発生に伴い、モニタリング強化のために追加。
注3: タンクエリアへの排水路の流入箇所
*測定対象外の項目は「-」と記す。
*NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

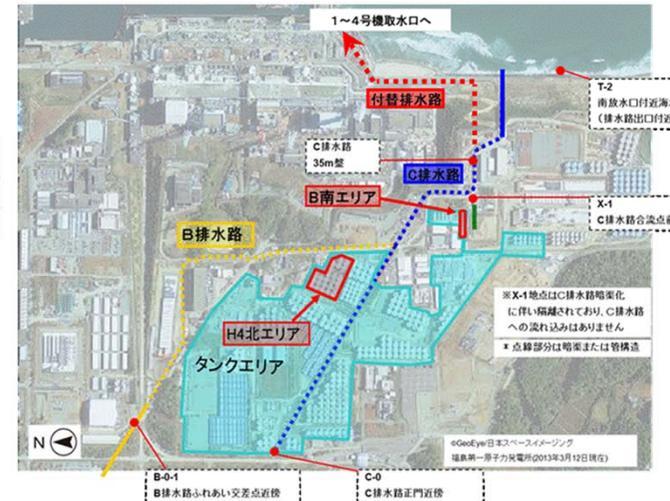
<参考> 前回公表までの最高値

単位: Bq/L

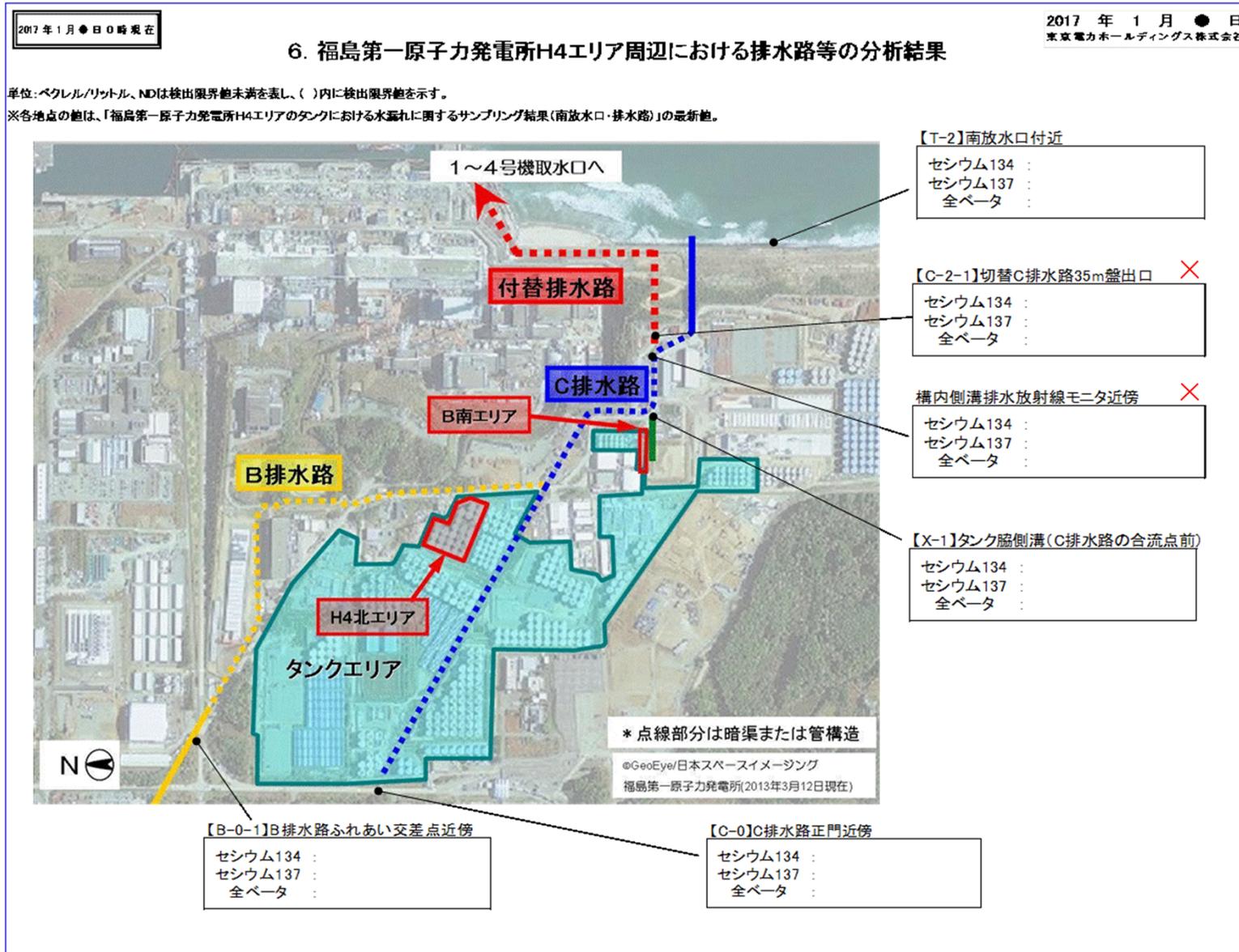
	南放水口付近 ^{注1} 海水 (排水路出口付近) (T-2)	C排水路 35m盤	C排水路 正門近傍 ^{注3} (C-0)
Cs-134(約2年)	3.5 [11/9]	22 <6/12>	20 <2/15>
Cs-137(約30年)	8.1 [9/15,11/9]	57 <6/12>	51 <2/15>
全β	17<8/24><11/13,11/19>	5400 [2/22]	120 <2/15>

	B排水路 ふれあい交差点近傍 ^{注3} (B-0-1)	タンク脇側溝 (C排水路の 合流点前) (X-1)
Cs-134(約2年)	110 <5/1>	450 [10/4]
Cs-137(約30年)	280 <5/1>	990 [10/4]
全β	380 [9/2]	15,000 [10/2]

*カッコ内は、各値の採取日を示す。〔〕は2013年、()は2014年、【】は2015年、<>は2016年。



(従来) 採取地点別放射性物質の分析結果-6.排水路 (H4エリア周辺)



(今後) 採取地点別放射性物質の分析結果-6.排水路 (H4エリア周辺)

2017年1月17日公表資料～

